

# 第30回新技術発表会 2018 in大阪

## 注目のNETIS 登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。  
メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 2018.1/16 火  
13:00~16:40(受付12:00~)

会場 エル・おおさか  
南ホール  
(大阪市中央区北浜東3-14)  
TEL.06-6942-0001

定員  
150人

### 新技術発表会プログラム

- 13:00  
~13:25 「クラック抑制ラバーファルト塗膜工法」  
／ラバーファルト(株)
- 13:25  
~13:50 「酸化被膜工法」  
／都市拡業(株)
- 13:50  
~14:15 「トンネルフェイスステスター(TFT探査)」  
／株安藤・間
- 14:15  
~14:25 休憩(10分)
- 14:25  
~14:50 「箱型スリット自由勾配側溝(SE-Ki側溝)」  
／フジプレコン(株)
- 14:50  
~15:15 「環境モニタリングシステム「CEEMS」」  
／中外テクノス(株)
- 15:15  
~15:40 「ウォータークリーン工法」  
／株マルホウ
- 15:40  
~15:50 休憩(10分)
- 15:50  
~16:15 「衝突軽減システム付バックホウ」  
／コベルコ建機(株)
- 16:15  
~16:40 「道路舗装ひび割れ解析サービス(市販ビデオカメラ版)」  
／東芝インフラシステムズ(株)

#### 申込方法

- ① FAX.06-6201-3928  
(裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL)  
<http://www.kentsu.co.jp>

#### 参加費

無料

2017年12月27日(水)

#### 申込期限

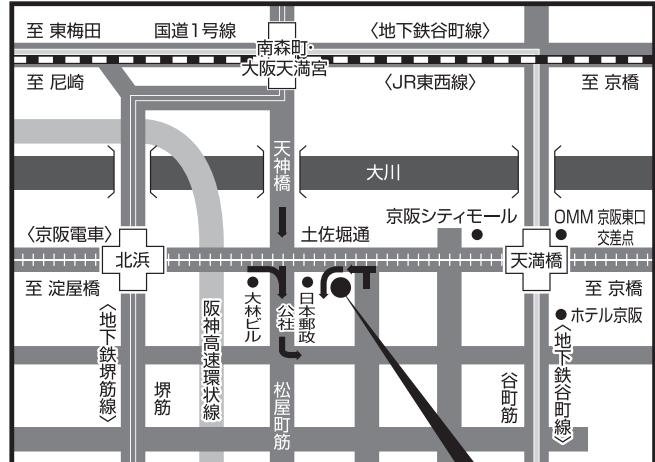
[先着順で定員になり次第、締め切らせていただきます。  
※同一の会社でのお申し込みは、5人までとさせていただきます。]

#### 継続教育

#### CPDS認定

全国土木施工管理技士会連合会の  
CPDS認定講習(4ユニット)(予定)

#### アクセス



- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m
- JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m
- 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、法円坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

エル・おおさか  
本館・南館

問い合わせ先

建通新聞社

建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係  
TEL.06-6201-3927

# 第30回 新技術発表会

概要

1

## クラック抑制ラバーファルト塗膜工法

ラバーファルト株式会社

中規模の舗装破損部分を打ち換えなしの補修で延命効果を発揮する事ができる技術。溶融したラバーファルトを補修箇所に塗布し、直接加熱材で舗装する。舗装のクラック抑制・剥離防止・止水を目的に開発したフィラー入り特殊アスファルトである。

2

## 酸化被膜工法

都市拡業株式会社

水改質装置を用いた酸化被膜工法で、従来は、管更生工法で対応していた。本技術の活用により、水改質装置を水供給の大元一箇所に設置すれば、経年劣化した給水・空調配管の赤錆部分を黒錆化することが可能で、工期短縮、経済性、耐久性、品質の向上が図れる。

3

## トンネルフェイスステスター(TFT探査)

株式会社安藤・間

掘削発破で発生する弾性波を利用した反射法弾性波探査により、切羽前方150mまでの地質状況を予測する技術である。ケーブルレスによる簡便なシステムであるため、施工の中止がなく連続的に探査が可能である。

4

## 箱型スリット自由勾配側溝(SE-Ki側溝)

フジフレコン株式会社

設計勾配に合わせて底部インパートをプレキャストで作製し、上部門型スリット側溝本体と一体化した、現場で据えるだけの自由勾配側溝。従来技術で必要なインパートの現場打設作業を不要としたため、熟練工を必要とせず工期短縮、省人化が図れる。

5

## 環境モニタリングシステム「CEEMS」

中外テクノス株式会社

複合的な環境測定を並行して行える環境監視装置であり、従来は計測器専用データ収集管理システムで対応していた。本技術の活用により測定データのグラフ化や日報作成機能により一括管理が行えるため、経済性、品質、施工性の向上が期待できる。

6

## ウォータークリーン工法

株式会社マルホウ

石綿含有仕上塗材及び下地調整材を超高压水(ウォータージェット)で撤去し、同時に剥離物と汚水を回収する技術である。従来は、ディスクグラインダーで撤去する工法で対応していた。本技術の活用により、粉じんの飛散を抑制でき、作業時の安全性が向上する。

7

## 衝突軽減システム付バックホウ

コベルコ建機株式会社

深度センサを使用した衝突軽減システムを搭載したバックホウで、従来は衝突軽減システム未搭載型バックホウで対応していた。本技術の活用により、後方走行時および旋回時の轢かれ事故・挟まれ事故を大幅に軽減することが可能となるため、安全性の向上が図れる。

8

## 道路舗装ひび割れ解析サービス(市販ビデオカメラ版)

東芝インフラシステムズ株式会社

道路舗装のひび割れについて、市販ビデオカメラを活用して自動解析する技術で、従来は、専用の測定車両による路面性状調査で対応していた。本技術の活用により、専用測定車両及び専門技術員が不要となるので、施工性の向上及び経済性の向上が図れる。

1月16日(火)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: 06-6201-3928

右記、記入の上  
上記FAX番号迄ご送付ください

企業名/団体名

所 属

氏 名

※複数の場合は参加される方  
全員をご記入ください

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail